

中学生の「税についての作文」優秀作品
『十日町納税貯蓄組合連合会優秀賞』

人と税の繋がり

十日町市立 吉田中学校 3年
春日 莉奈

私は、税金は何であるの？いらなくない？とずっと思っていました。まだ消費税しか払ったことはなくて、消費税以外にも税金の種類がたくさんあることを知りました。私が払っているのは税金のほんの一部なのだと分かりました。私の親や周りの大人は消費税プラス他の税金も払っていると知り、働いていてお金を稼いでも税金を払わなければいけなくて大変だな。嫌じゃないのかな？など考えていました。

そして作文を書くに当たって税金の使い道について調べてみました。病院に行ってお金を払うにも保険証などがないと大きな額になってしまうなど、国が支出している社会保障のおかげで少ない額で済んでいると知ることができました。税金がなかったら病院や学校にも行きづらくなってしまいうんだなと少し怖くなりました。

普段何気なく商品と一緒に税金を払っているけれど、人の命を救うことができたり、災害が起きたときに修復することができたり、少しでも人の力になることができると分かり税金を払うことは良いことなのかもしれないと思いました。

会ったこともない誰かを助けて、助けられている、見えずとも税金は人と人の繋がりになっていてとても素敵だなと思いました。

何気なく平和に暮らして、ご飯を食べて、お風呂に入って、寝て起きて学校に行ける。一つでも崩れてしまったり、税金がなくなってしまうたら、そんな当たり前前の生活も当たり前でなくなり普通に過ごすことができなくなってしまう。学校に通えず、勉強を学ぶことができない。そもそも学校がなかったかもしれない。勉強が苦手でも、こうして将来のために学ぶことができ、税金の仕組みについても理解することができて、税金は、自分の生活に、生きていく上でとても大切なんだと思いました。人と人とを繋ぐ税金をこれからも絶やさず、大人になってからも、しっかり払っていこうと思いました。